

療育研修会

福岡県 支部

◆テーマ

筋ジストロフィー患者の栄養と食事

講師 荒畑 創

「筋ジストロフィー患者の食事と栄養」という演題で、病気の型によって注意すべき点や、栄養面、食事形態、嚥下障害等について詳しくお話していただきました。

筋強直性筋ジストロフィーでは、病気の症状として中性脂肪やコレステロールが上昇していることが多くみられる、ということです。

デュシェンヌ型では、やせ過ぎも太り過ぎも体に悪い影響があり個人個人の体重管理、栄養指導が重要である、とのことでした。

また、摂食嚥下障害は、緩徐に進行し患者は実感が分からない事が多く、誤嚥してもむせない事もあるそうです。

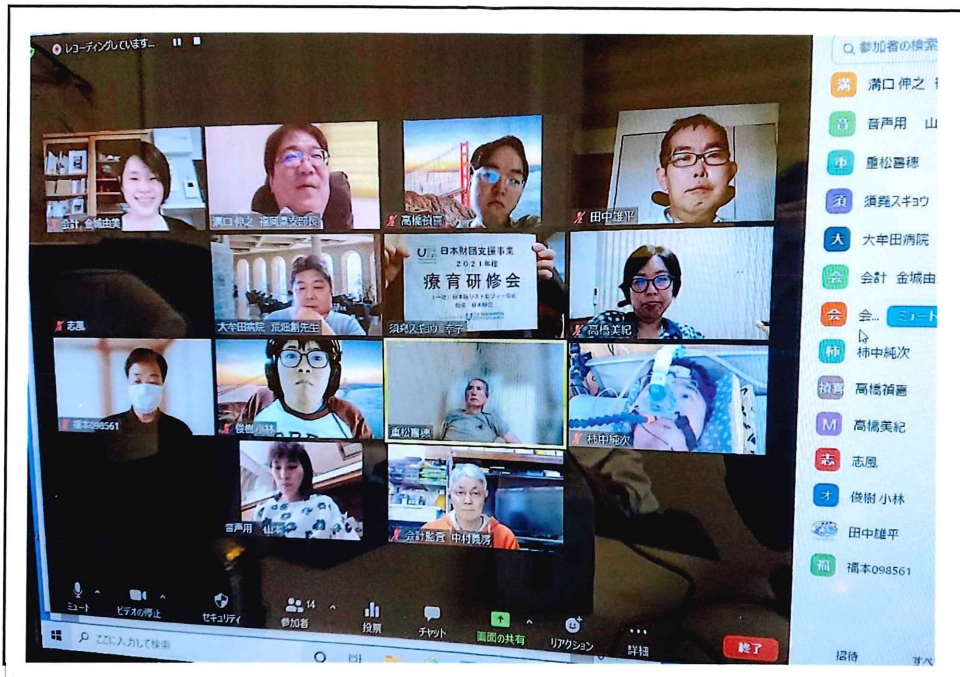
摂食嚥下のリハビリ、口腔ケア、自主訓練や舌の体操の方法など、教えていただきました。

筋ジストロフィー患者に適切な必要カロリー等、役に立つ情報も教えていただきました。

療育研修会実施状況

福岡県 支部 参加数 13名

実施場所 オンライン会議システムZOOM



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

・医療講演会は、医師により神経筋難病患者の必要な食事摂取量が違って
 いたため、専門医による助言はとても参考になりました。
 口腔ケアやリハビリの必要性は理解しましたが、在宅での実施はなかなか
 難しいと感じています。

・有意義でした。
 やはり進行性なので、どのタイミングで話が聞けるかというのが大きいな
 と、改めて思いました。子どもが小さい頃はイメージしにくかったことも
 今だと分かりやすく思いましたので。
 医療も、臨床的な工夫も、年々進化しているのだから、数年置いて同じ
 テーマでお話が聞けるのも悪くないなと思いました。

・お疲れ様でした。
 息子は、食事中 むせこみが増え カフアシストで取ることが多くなって
 きてたので、今日の研修会に参加出来て良かったです。
 ありがとうございました。

・ありがとうございました。
 コロナワクチンの筋肉注射、皮下注射のこと、とても勉強になりました。
 大牟田病院のお祭りとかに早くみんなで行けるようになるといいですね。

・日常の体重管理の必要性を感じました。
 摂食嚥下障害は、緩やかに進行して患者はあまり実感が無いそうなので、
 怖いなと思いました。